

アドバイザー派遣実施レポート

倉吉市小学校校長会・東伯郡小学校校長会

- 1 研修テーマ 英語を使ったコミュニケーションの楽しさを体験する外国語活動
- 2 期 日 平成 27年 11月 5日 (木曜日)
- 3 場 所 倉吉交流プラザ 第1研修室
- 4 講 師 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
教育課程調査官 直山木綿子 氏

5 講演内容

(1) 小学校外国語活動に求められているもの

- ・教室英語をたくさん使うこと。担任が授業を行うこと。他教科との系統的な学びにすること。

(2) 児童が主体的に活動する指導の工夫

- ・小学校の新たな外国語教育における補助教材を活用した指導の工夫
- ・コミュニケーション能力の基礎を養う教材の活用の工夫

6 受講者の感想

- ・中学年外国語活動と高学年での英語科との違いもよく分かったし、高学年英語科のめざすところも具体的に教えてくださってよかった。
- ・「日本語でコミュニケーションができないのに外国語でできるわけがない。」という言葉は強く印象に残った。やはり日頃の学級経営や他教科での授業が大きく反映される小学校外国語活動の意義があると感じた。
- ・外国語支援員の立場で関わっているが、最初にお話された「支援員に丸投げをしない。」ということ意識して小学校に合った活動になるように心がけている。一番最初に話された「言葉を大切にする。」ことは小学校英語教育でずっと変わらない最も大切なことだと思う。

7 まとめ

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画や英語教育の在り方に関する有識者会議の報告を受けて、最新の情報を提供していただき、小学校高学年教科としての目標イメージをとらえることができ、小学校外国語に求められているものについて研修を深めることができた。小学校外国語活動についての児童調査から、自分の考えを発信していく「話す」ことが苦手な傾向にあることが分かり、話す楽しさを感じることができる授業にするため、コミュニケーション活動の工夫や他教科との系統的な学習が大切であることを具体例をもとに体感した演習になった。

